

平成 22 年度 第 2 回学生評価委員会 議事録

日時：7 月 30 日（金）12:45～13:25

出席者：教員：安田進（ ），見村博明（ ），松井邦人（ ），武村武（ 〇 ）

M2：小笠原龍童（ 〇 ），田島規雄（ 〇 ），鶴田隆文（ 〇 ）

M1：高橋翔（ ），守屋巖太郎（ 〇 ），渡辺綱（ 〇 ）

4 年：遠藤章介（ ），大沢祐輔（ 〇 ）

3 年：片山祐枝（ 〇 ），肥後成一（ 〇 ）

2 年：石川香織（ 〇 ），椎名昌士（ 〇 ）

会議内容

1. 調査概要の検討

アンケート調査，ヒアリング調査の概要の決定を行った．特に，ヒアリング調査の実施の必要性について，アンケート調査の内容について議論を行った．

- ・ 調査目的:学生から授業に対する意見を聞き出し，討論会でのバックデータとする事
- ・ アンケート調査
 - ・ 調査日程:10 月中旬～終わりに実施
 - ・ 実施対象，実施方法及び実施メンバー
 - 2 年生:授業内実施 後期に決定（メンバー：石川，椎名，M2，M1）
 - 3 年生:授業内実施 後期に決定（メンバー：片山，肥後，M2，M1）
 - 4 年生:研究室単位で実施（メンバー：遠藤，佐藤，M2，M1）
 - 大学院生:研究室単位で実施（メンバー：遠藤，佐藤，M2，M1）
 - 集計：M1，取りまとめ：田島
 - ・ アンケート内容
 - 次回の学生評価委員会の時に，サンプルのアンケート票をもとに議論を行う．
- ・ ヒアリング調査
 - ・ 議論のポイント
 - 1. ヒアリング調査は必要なのか
 - ・ アンケート調査だけで，ある程度意見を吸い上げられるのではないかと？
 - ・ また，そういった事が出来るアンケート票にする事で必要がなくなる

のでは？

- ・討論会の際に議論を行う中心となる大学院生は授業から離れてしまっている為、学生の思いを伝えきれないのではないか？

アンケート調査の結果を見て、実施するかどうか再検討する。

- ・目的: アンケート調査だけでは、わからない授業の様子を聞き出す事
- ・調査日程: 11 月終わりから 12 月に実施(アンケート調査の結果を見て判断)
- ・ヒアリング内容: アンケート調査の結果を見て、詳細を決定
- ・実施対象: 学部 2 年生及び 3 年生
- ・選定方法
 - ・ヒアリング調査に協力してくれる方を募る(名前を記入してもらう)
 - ・授業の終了後等に話を聞きに行く

アンケート調査終了後、再検討

- ・実施メンバー: 大学院生、各学年の評価委員、武村先生

2. 次回の学生評価委員会

- ・ 9 月中に開催予定
- ・ サンプルのアンケート調査票を基にアンケート調査の詳細を決定する。

文責 田島